

鬼怒申だより



第3号

令和6年7月10日（水） 発行者 校長 高橋 裕一

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

体育祭が行われました

6月13日（木）に、体育祭が行われました。例年は梅雨の時期ですので、天気が心配でしたが、好天に恵まれました。2日前の11日（火）に予行を行っていましたので、競技はとてもスムーズに進み、予定通り終了することができました。

開会式において、生徒の皆さんに、「本日の体育祭を通して、『できないことができるようになり』、『自分の良さや可能性』を見つけましょう。本日は特に、クラス全体で取り組んできた団体種目において、みんなで協力して、『できないことができる』経験をしましょう！」と話をしました。

閉会式では、各学年の1位から3位までを表彰しました。その後で、「生徒の皆さんは、プレイだけではなく、応援も係活動にも全力で取り組みました。見ている側としては、とても素敵な時間を過ごさせていただきました。保護者の皆様も、お家に帰りましたら、体育祭の話題に華をさせてください。」とお話をしましたが、そのくらい、生徒の動きが素晴らしかったです。普通ならば招集場で、少しだらだらしてしまいがちなのですが、そのようなことが全くなく、本当にしっかり取り組んでいました。

そしてさらに、次のようなお話を付け加えさせていただきました。

「全力で頑張っても、結果的にうまくいかないことがあります。でも、結果が全てではなく、結果に至るまでの努力が大切です。その努力は無駄ではなく、必ず普段の学習や生活に生きてきます。結果が出なくて悔しい思いをしたならば、絶対あきらめずに、さらに工夫して、次の活動に生かしてください。次に学級対抗で行われるのは、合唱コンクールです。協力して頑張りましょう。」

秋の合唱コンクールが楽しみです。



冒険活動教室が行われました

7月2日（火）から7月4日（木）の3日間で冒険活動教室が行われました。今年はとても暑かったり、部活動の大会が近かったりなど、体力的にはとても大変だったと思います。しかし、1年生はとても元気でした。普段から元気があり、明るい雰囲気の学年だと聞いておりましたが、確かにそうでした。

私も、初日の登山に参加させていただきました。暑い中、榛名山・男山・本山の3山を登りました。樹木の伐採があり、例年とは違うルートを通りましたが、ゴツゴツした岩場などがたくさんあり、体力・精神力を向上させるには最高の場所でした。最初、「いやだなあ」とか、「面倒くさいなあ」などネガティブな発言をしていた生徒たちも、頂上に到達するごとに、徐々に自信を深め、最後は足取り軽く冒険センターに戻っていきました。山を登るときは簡単に上れていた私ですが、下りにおいては、膝が笑い、のろのろと降りてきました。気がつくと、生徒たちの姿が見えなくなっていました。達成感を得た子どもたちの元気な姿に圧倒されました。

学年主任に話を伺ったところ、この3日間の様々な場面で、子どもたち同士の「助け合い・励まし合い」が見られたそうです。この行事を通して、一回り成長できた生徒はたくさんいたのではないのでしょうか。ぜひ普段の生活に生かして行ってほしいです。



宇河地区総体が行われました。そして県総体。。。

6月22日（土）から7月7日（日）までの約半月で、宇河地区総合大会が行われました。種目によって日時が違っていたり、学校行事があったりと、大変忙しい中での開催でした。本校生徒はとてもよく頑張っており、多くの部活動が県大会に出場しました。惜しくも県大会を逃す部活動もありましたが、最後まで精一杯頑張る姿には感銘を受けました。7月12日（金）からは早速県大会が始まりますが、暑さとの戦いでもあります。熱中症には十分気をつけ、良い体調で試合に臨めるよう健康管理に努めてください。

部活動から得られることはたくさんありますが、何かに熱中できることは本当に素晴らしいことです。最後まで粘り抜き、完全燃焼しましょう（宇河地区総体や県総体の結果は後日、本校ホームページにアップいたします）。

お知らせです

例年実施しております「保護者からの体罰等にかかる相談機会」の第1回を、本校では次のように設けます。相談がありましたら、電話相談・面談いずれでもかまいませんので、副校長または校長までご連絡ください。

期日：8月28日（水）・29日（木） 時間：9：00～15：00